

1. 体験型選択必修科目とは

キャリアデザイン学部では、生涯にわたって人やコミュニティ等とのかかわりを通して学ぶための能力開発を目標の一つとしています。そのため自律的な学びを奨励し、多くの科目が参加体験型学習となっています。これらの科目のうちいくつかのペア科目を「体験型選択必修科目」とし、「事前指導」や「I」を先に履修し単位を取得した後に「実習」や「II」を履修します。「体験型選択必修科目」は、いずれも履修学生が主体となり人やコミュニティとかかわるなどの活動を体験しながら学ぶ部分が組み込まれた科目です。また、卒業要件として科目系列ごとに決められた単位数を取得した上で合計が132単位（2011年度以前入学者は124単位）を満たすということ以外に、春学期・秋学期ペアで4単位を取得することが必要です。

2. 体験型選択必修科目の履修方法

「体験型選択必修科目」は選択必修科目であることや実習が伴うために定員が設けられていることから、次のように履修してください。

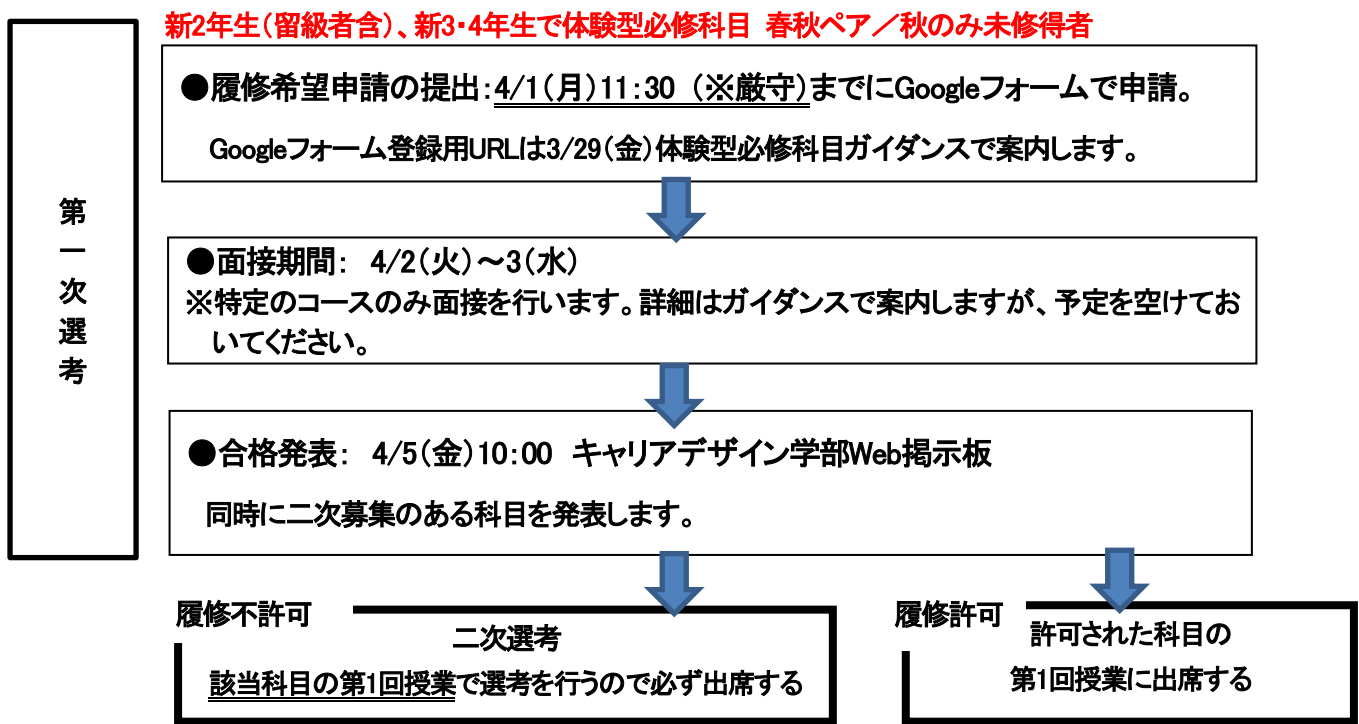
なお、ガイダンスや履修決定までに変更点や追加連絡が生じた場合、学部掲示板およびキャリアデザイン学部HPにてお知らせします。毎日必ず確認してください。

●資料配付(2019年度時間割やシラバス等) 3/29(金)11:00~16:00 S306教室 (時間内いつでも可)

●ガイダンス

① 新2年生履修ガイダンス 3/29(金)14:00~15:00 S205教室 (対象:新2年生<留級者含>)

② 体験型選択必修科目ガイダンス 3/29(金)15:00~16:00 S205教室  
(対象:新2年生、新3・4年生で体験型必修科目未修得者<留級者・秋のみ未修得者含>) ※資料配布あり。必ず参加してください。



- 注意事項
1. 2019年度よりGoogleフォームによるWeb申込に変更します。GoogleフォームURLは、大学Gmail(XXX@stu.hosei.ac.jp)のみアクセスできるように設定しています。個人Gmailからはアクセスできませんので、大学Gmailアカウントに切り替えてアクセスしてください。大学Gmailアカウントが不明の場合は、「法政大学 Gmail」でウェブ検索し、3/29(金)のガイダンスまでに使用できるようにしてください。
  2. 登録が完了すると、Googleフォームから大学Gmail宛に、提出内容のコピーが自動送信されます。内容に誤りがないか確認の上、メールは破棄せず保管してください。なお、Googleフォームから返信がない場合は、登録が完了しておりません。再度登録を行ってください。
  3. 期間内であれば内容を編集することができます。上記のGoogleフォームに再度アクセスし、「回答を編集」を選んで、編集を行ってください。
  4. Googleフォームにアクセスできない等、システムに関する理由で申請ができない場合には、必ず登録期限までに学部窓口に出してください。締め切り後に申請ができなかったことを申し出ても、対応することはできませんのでご注意ください。

### 3. 履修にあたっての準備

上記スケジュールのとおり、シラバス・時間割配布後、履修ガイダンス、googleフォームでの申込み締切までの日数が非常に短くなっています。

「体験型選択必修科目」の授業内容について、本年度シラバスを読んで事前に概要を把握し、どの授業を履修したいか、googleフォームに入力する志望理由等をあらかじめ考えて準備しておくことをお勧めします。

### 4. 2019年度「体験型選択必修科目」一覧 (2019.3.20時点の情報です。必ず3.29実施のガイダンスにて確認してください。)

科目名		コース	曜日時限	担当	定員	選抜方法	面接日程		補足事項		
春学期	秋学期						実施する場合の面接日付	面接実施時間帯※1			
キャリアサポート 事前指導	キャリアサポート 実習		月3	廣川 進	20	申込入力内容のみで選抜	—	—			
			火3	熊谷 智博	20	申込入力内容のみで選抜	—	—			
			水2	児美川 孝一郎	20	申込入力内容のみで選抜	—	—			
			水2	田澤 実	20	申込入力内容のみで選抜	—	—			
キャリア体験事 前指導	キャリア体験学 習	A・B	A	水4	酒井 理	25	11	人数超過の場合面接実施	4/2(火)	13:00～17:00	・Aのみ希望 ・A希望だが、漏れたらB希望 ・B希望 の選択肢を設けます。
			B				14	申込入力内容のみで選抜	—	—	
		A・B	A	月3	中野 貴之	25	11	全員面接実施	4/3(水)	16:00～20:00	
			B				14	全員面接実施	4/3(水)	16:00～20:00	
			B	木4	田中 研之輔	25	申込入力内容のみで選抜	—	—		
			B	木3	松浦 民恵	25	申込入力内容のみで選抜	—	—		
			C	金4	山岡 義卓	32	申込入力内容のみで選抜	—	—		
キャリア体験事 前指導(国際)	キャリア体験学 習(国際)	ベトナム	木4	御園生 純	10	全員面接実施	4/3(水)	13:00～14:30			
		台湾	月2	笹川・趙・郭	10	人数超過の場合面接実施	4/3(水)	14:00～16:00			
多文化教育 I	多文化教育 II		木2	村田 晶子	50	申込入力内容のみで選抜	—	—			
メディアリテラ シー実習 I	メディアリテラ シー実習 II		水4	坂本 旬	20	申込入力内容のみで選抜	—	—			
地域学習支援 I	地域学習支援 II		春:水4 秋:金6	寺崎 里水	35	申込入力内容のみで選抜	—	—	秋学期は、複数の教員で担当します。		

※1 この時間帯で、面接を実施します。この時間帯の中で個別に何時になるかについては、[面接実施日の当日朝10:00にweb掲示板](#)で発表します。

[この時間帯のうち何時になっても大丈夫なように予定を空けておいてください。](#)

【申込みgoogleフォームURL】

<2ペア目以上の履修を希望する方への注意事項>

- ・「キャリア体験学習」(事前指導含む)と「キャリア体験学習(国際)」(事前指導含む)は同時に履修できません。
- ・「キャリア体験学習」(事前指導含む)は在学中、A・B・Cコースのいずれか1つのみ履修可能です。
- ・「キャリア体験学習(国際)」(事前指導含む)は在学中1つのみ履修可能です。

<2013年度以前の入学者の方への注意事項>

- ・上記の科目のほか、「職業ベーシックスキル I・II」「アントレプレナーシップ論 I・II」「教育マネジメント I・II」を、体験型選択必修科目として選択可能です。
- 希望する場合は、学部窓口にお問合せください。



春学期科目名	キャリアサポート事前指導	時間割参照	担当	田澤、児美川、熊谷、廣川
秋学期科目名	キャリアサポート実習	時間割参照	担当	田澤、児美川、熊谷、廣川
定員	20	面接の有無	なし	申込時の志望理由以外の入力欄 なし

#### 体験テーマ

「キャリアサポート実習」では、高校生に対してキャリア教育プログラムを行います。プログラムは授業内で自作します。実習では、司会またはファシリテーターとして高校生と関わります。高校生の話を聴き、グループの意見を引き出し、話し合いが進みやすいような雰囲気をつくるなどの役割を担います。

このプログラムを実施するために、「キャリアサポート事前指導」では、ソーシャルスキルおよびキャリア教育プログラムの作成の仕方を学びます。

#### 内容（春、秋それぞれについて）※詳細はシラバスを参照すること

##### 【春】

「キャリアサポート事前指導」では、まず、他者のキャリア形成支援に必要なソーシャルスキルを学びます。具体的には、傾聴や質問技法など「聴き方」、自分が我慢するだけでも、自分の意見を押し通すだけでもないコミュニケーションのひとつである「アサーション」、グループでの話し合いを円滑に進めるための「ファシリテーション」、話し合いをまとめるための「ブレインストーミング」などです。これらを扱った後に、いくつかのグループに分かれ、大学1年生を対象としたキャリア教育プログラムを考案し、実演します。基礎ゼミの時間を利用します。

##### 【秋】

「キャリアサポート実習」では、高校生に対してキャリア教育プログラムを行います。実習は2回あります。この実習のための事前指導および事後指導を行います。なお、昨年度はすべて定時制高校でした。

#### 履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など

- ・ 定員（20名）を超えた場合は、履修希望申請書に記入した志望理由をもとに選抜をします。
- ・ 実習は、基本的にはクラス単位となりますが、他クラスと合同となることもあります。

#### 費用の目安、自己負担の程度

・実習では高校に訪れます。その際に、交通費が発生しますが、学部の助成を規定の範囲内で利用できます。（昨年度はすべて神奈川県にある高校でした。）

#### その他注意事項など

- ・ 実習への参加は必須です。
- ・ 春学期、秋学期ともに複数回のレポート執筆を求めます。
- ・ 授業内で1対1またはグループを単位としたワークを多く行います。
- ・ 遅刻せずに出席ができることが条件となります。

春学期科目名	キャリア体験事前指導 A・B	水 4	担当	酒井 理	
秋学期科目名	キャリア体験学習 A・B	水 4	担当	酒井 理	
定員	11・14	面接の有無	Aはあり	申込時の志望理由以外の入力欄	あり

体験テーマ：自分なりの職業観、就業観を獲得することを目的とします。働くイメージをできるだけ身近に感じ、大学時代に何をすべきか学ぶべきかを明確にします。単なる憧れで仕事を捉えるのではなく、社会、企業、仕事を理解します。

内容（春、秋それぞれについて）※詳細はシラバスを参照すること

**【春】**

- ① 1年をかけて自分で PDCA サイクルを回します。春期は Plan を行います。夏休みのインターンという実践に向けて、他の学生の考え方を知り、協働作業に慣れることを狙いにグループワークを行います。
- ② 社会人ゲストの話、先輩の話などを聞く機会を設けます。職業、働くことを深く考えることにより働くことに対する意識を高め、社会人のマインドセットを行います。
- ③ A コースは、教員との面談により派遣企業先のマッチングを行います。B コースは、自主開拓で学生の主体性に任せますが、必要な場合、相談を随時行います。海外は B コースとして扱います。自主的に開拓することになりますが、学生の希望があれば実績のあるエージェントを紹介します。
- ④ 夏季の休業期間を利用してインターンを行います。一企業で最低フルタイム 5 日間以上の就業体験をすることが条件です。ただし連続している必要はありません。
- ⑤ グループでプロジェクト課題を行うなど就業体験とみなすことが困難なケースについては認めないことがあります。

**【秋】**

- ① 秋は C(Check)のプロセスを行います。夏のインターンが D(Do)に当たりますが、その D を振り返り、改めて仕事とは何なのか、働くとはどういうことかについて、自分なりに整理します。そして、大学生活における次の行動に結びつける練習をします。Checkからの Act の流れを作ります。ここでは、実践を通した学びの方法を獲得することを目指します。
- ② 将来の社会や働き方を考えることが現在の職業観を形成するベースになると考え、グループでのディスカッション及び企業研究によって、先を見通すことのできる知識や思考を身につける訓練を行い、自らのインターン経験をエッセイとしてまとめます。

◎ **大学が準備するインターンシップ先（2018 年度実績：2019 年度には多少変更される可能性があります）**

テレビ番組制作、広告制作、ブライダル、モバイルコンテンツ、金融コンサル、地方自治体、IT ベンチャー、人材開発サービス、ケーブルテレビ、国際交流関連 NPO など

◎ **自主開拓(国内、海外)2018 年度実績：**

国内自主開拓：イベント企画、デジタル広告、宿泊業など、 海外自主開拓：シンガポールの音楽事務所、海外エージェントによる派遣：米国、豪州、マレーシア、ベトナムで、出版編集、アパレル、旅行企画、小学校など

**履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など**

- Aコースは企業数が限られているため定員は11名になる予定です。それ以外がBコース(国内、海外)で定員14名です。
  - ABコースとも書類選考を行います。それに加え、Aコースは面接選考を行います。（面接選考は4/2におこないます）
  - 希望形態は3つ：①Aコースのみで選考希望、②Aコースで選考に漏れた場合はBコース希望、③Bコースのみ希望
  - Bコース（国内・海外）は、できる限り受け入れる方針です（定員枠を少し緩めに運用します）。海外のインターン希望は、その旨を申請書類に明示してください。
  - 自分で行きたい企業や業種がある人はBコースを選んでください。Aコースで選考された場合、必ず大学で用意された企業のどれかに行くこととなります。希望が叶わない場合もあります。それを理解の上、Aコースを希望してください。
- ※応募にあたっては、キャリア体験学習履修者の報告書をキャリア・アドバイザー・ルームで配付しますので、読んでおくようにしてください。（海外でのインターンを考えている学生には、紹介できるエージェントの資料も置いてあります）

**費用の目安、自己負担の程度**

- ・ インターン先によって金額はまちまちですが、交通費がかかります（総額の半額の補助が出ます。上限 2 万円）。
- ・ 海外でのインターンは自主開拓かエージェント利用か、国、日数、宿泊形態によって金額が異なりますので、自分の希望条件とのマッチング、エージェントの選択などを慎重におこなってください。

**その他注意事項など**

インターン経験ができなかった場合、単位取得はできません。

春学期科目名	キャリア体験事前指導 A・B	月 3	担当	中野 貴之
秋学期科目名	キャリア体験学習 A・B	月 3	担当	中野 貴之
定員	11・14	面接の有無	あり	申込時の志望理由以外 の入力欄

#### 体験テーマ

自分なりの職業観、就業観を獲得することを目的とします。働くイメージをできるだけ身近に感じ、今自分に何が足りないのか、何をすべきかを明確にします。単なる憧れや理想で仕事を捉えるのではなく、しっかりと社会や企業、そして仕事を理解します。

#### 内容（春、秋それぞれについて）※詳細はシラバスを参照すること

##### 【春】

- ① 1年をかけて自分で PDCA サイクルを回します。春期は Plan を行います。夏休みのインターンという実践に向けて、他の学生の考え方を知り、協働作業に慣れることを狙いにグループワークを行います。議論によって意識や考え方を深め、発表によって思考の言語化、構造化の方法を獲得する練習をします。
- ② 社会人ゲストの話、先輩の話などを聞く機会もあります。職業、働くことを深く考えることにより働くことに対する意識を高め、社会人のマインドセットを行います。
- ③ A コースは、教員との面談により派遣企業先のマッチングを行います。B コースは、自主開拓で学生の主体性に任せますが、必要な場合、相談を随時行います。なお、海外インターンシップは対象としません。
- ④ 夏季の休業期間を利用してインターンを行います。一企業で最低フルタイム 5 日以上就労経験をするのが条件です。

##### 【秋】

- ① 秋は C(Check)のプロセスを行います。夏のインターンが D(Do)に当たりますが、その D を振り返り、改めて仕事とは何なのか、働くとはどういうことかについて、自分なりに整理します。そして、大学生活における次の行動に結びつける練習をします。Check からの Act を経験することで、実践を通した学びの方法を獲得することを目指します。
- ② 将来の社会や働き方を考えることが現在の職業観を形成するベースになると考え、グループでのディスカッション及び企業研究によって、先を見通すことのできる知識や思考を身につける訓練を行います。
- ③ 自らのインターン経験をエッセイとしてまとめます。
- ◎ **大学が準備するインターンシップ先（2018 年度実績：2019 年度には多少変更される可能性があります）**  
テレビ番組制作、広告制作、ブライダル、モバイルコンテンツ、金融コンサル、地方自治体、IT ベンチャー、人材開発サービス、ケーブルテレビ、国際交流関連 NPO など
- ◎ **自主開拓(国内、海外)2018 年度実績：**  
2018 年度は A コースのみで自主開拓の実績はありません。

#### 履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など

- Aコースは企業数が限られているため定員は11名になる予定です。それ以外がBコース(国内)で定員14名です。
- ABコースとも応募者全員について面接を行います(面接4/3 16:00～)。定員を超えた場合には、書類および面接により選考を行います。
- 希望形態は3つ：①Aコースのみで選考希望、②Aコースで選考に漏れた場合はBコース希望、③Bコースのみ希望
- 自分で行きたい企業や業種がある人はBコースを選んでください。Aコースで選考された場合、必ず大学で用意された企業のどれかに行くこととなります。希望が叶わない場合もあります。それを理解の上、Aコースを希望してください。
- ※応募にあたっては、キャリア体験学習履修者の報告書をキャリア・アドバイザー・ルームで配付しますので、読んでおくようにしてください。

#### 費用の目安、自己負担の程度

インターン先によって金額はまちまちですが、交通費がかかります(総額の半額の補助が出ます。上限2万円)

#### その他注意事項など

インターン経験ができなかった場合、単位取得はできません。

春学期科目名	キャリア体験事前指導 A・B	木 4	担当	田中研之輔
秋学期科目名	キャリア体験学習 A・B	木 4	担当	田中研之輔
定員	25	面接の有無	なし	申込時の志望理由以外 の入力欄

#### 体験テーマ

自分なりの職業観、就業観を獲得することを目的とします。働くイメージをできるだけ身近に感じ、今自分に何が足りないのか、何をすべきかを明確にします。単なる憧れや理想で仕事を捉えるのではなく、しっかりと社会、企業、仕事を理解します。エントリーシートの書き方、業界研究・会社研究、面接対策、グループワークも取り入れます。

内容（春、秋それぞれについて）※詳細はシラバスを参照すること

#### 【春】

- ① 1年をかけて自分で PDCA サイクルを回します。春期は Plan を行います。他の学生の考え方を知り、協働作業に慣れることを狙いにグループワークを行います。議論によって意識や考え方を深め、発表によって思考の言語化、構造化の方法を獲得する練習をします。
- ② 社会人ゲストの話、先輩の話などを聞く機会もあります。職業、働くことを深く考えることにより働くことに対する意識を高め、社会人のマインドセットを行います。
- ③ 基本的に、インターン先は自主開拓で受講学生の主体性に任せます。必要な場合には担当教員がサポートします。

#### 【秋】

- ① 秋は C(Check)のプロセスを行います。インターンが D(Do)に当たりますが、その D を振り返り、改めて仕事とは何なのか、働くとはどういうことかについて、自分なりに整理します。そして、大学生活における次の行動に結びつける練習をします。Check から Act を経験することで、実践を通じた学びの方法を獲得することを目指します。
- ② 将来の社会や働き方を考えることが現在の職業観を形成するベースになると考え、グループでのディスカッション及び企業研究によって、先を見通すことのできる知識や思考を身につける訓練を行います。
- ③ 自らのインターン経験を報告集としてまとめます。(他クラスと共通のフォーマットを使用)
- ④ インターン実施経の成果報告を各自プレゼンテーションしてもらいます。

\* 毎回の授業内ワークも受講学生で役割をきめて行います。司会、モデレーター、ファシリテータ、コメンテーター等。

#### \* インターン先実績例

テレビ番組制作、広告制作、シティホテル、ブライダル、モバイルコンテンツ、大手精密機器メーカーの販社、金融コンサル、地方自治体、IT ベンチャー、旅行代理店、人材開発サービス、ケーブルテレビ グルメサイト等

履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など

- 定員（25 名）を超えた場合、選抜を行います。
- 書類選抜の他に、必要と思われる場合は面接による選抜も行います。
- インターン先の希望はききますが、インターン先が求める人材像との整合をとるため面談で最終的に企業を決定します。希望するインターン先に行けないこともあります。

費用の目安、自己負担の程度

インターン先によって金額はまちまちですが、交通費がかかります（総額の半額の補助が出ます。上限 2 万円）

その他注意事項など

春学期科目名	キャリア体験事前指導 (A・Bコース)	木3	担当	松浦 民恵
秋学期科目名	キャリア体験学習 (A・Bコース)	木3	担当	松浦 民恵
定員	25	面接の有無	なし	申込時の志望理由以外 の入力欄
				なし

#### 体験テーマ

インターンシップ先の開拓、インターンシップの経験、これらに関する振り返り等を通じて、これからのキャリアに対して気付きや示唆を得ることを目的としています。インターンシップは5日間以上、原則として夏休み中に体験していただきます。

#### 内容(春、秋それぞれについて) ※詳細はシラバスを参照すること

##### 【春】

- ① インターンシップ先の開拓・選定に向けて必要となる実践的な情報を提供・共有します。
- ② グループワーク等を通じて、インターンシップ先で何を学ぶか、どういったインターンシップを体験したいかを明確にします。
- ③ インターンシップのための事前準備を行います。
  - < 予定されている提出物 >
  - ・グループワークの発表資料(グループ毎、全員)
  - ・簡単なエッセイ～インターンシップ先で何を学ぶか等(1人ずつ、全員)

##### 【秋】

- ① グループワーク等を通じて、インターンシップ体験の分析と教訓の整理、これからのキャリアに関する考察を行います。
- ② ゲストスピーカー(企業の実務家)の講話と質疑を通じて、個別の業界についての理解を深めます。
  - < 予定されている提出物 >
  - ・インターンシップの確認書類、業務日誌、インターンシップの振り返り資料(1人ずつ、全員)
  - ・グループワークの発表資料(グループ毎、全員)
  - ・業界研究(1人ずつ、全員)
  - ・簡単なエッセイ～インターンシップで得られたこと等(1人ずつ、全員)

#### 履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など

この授業では、インターンシップ先を自分自身で開拓するBコース(原則として国内)のみを募集します。定員(25名)を超えた場合は、書類による選抜を行います。選抜では、主にインターンシップ先を自ら開拓する意欲、インターンシップ体験に対する思いを確認させていただきます。

提出いただいた志望書の内容に関して確認事項がある場合は 4/2 中にメールもしくは電話でご連絡しますので、連絡の有無や内容を必ずご確認ください(確認事項がない場合は特にご連絡いたしません)。指定の期日までに連絡がとれないと、落選となる場合がありますのでご注意ください。

#### 費用の目安、自己負担の程度

交通費等は、所定の手続きによって、学部の助成の規定の範囲内で支給されます。規定の範囲を超えるものについては、自己負担になります。都内の5日間程度のインターンシップであれば、自己負担は基本的に発生しないと推測されますが、地方就業型のインターンシップ等インターンシップ先が遠方である場合や、長期間に亘るインターンシップの場合は、距離や期間に応じて自己負担が発生しますのでご注意ください。

#### その他注意事項など

この授業では、予め用意されたインターンシップ先は一切ありません。履修者全員が、行きたいインターンシップ先を自分自身で開拓できることを目指して、教員が指導・支援を行います。

インターンシップ先への応募、面接、条件の確認・交渉は全てご自分で進めていただきます。インターンシップ実施にあたっては、確認書類への記載・捺印をインターンシップ先の担当者のかたにご依頼いただきます。

秋学期の授業(キャリア体験学習)の履修については、その前にインターンシップを体験していることが受講の条件となります。

春学期科目名	キャリア体験事前指導 (C コース)	金 4	担当	山岡 義卓	
秋学期科目名	キャリア体験学習 (C コース)	金 4	担当	山岡 義卓	
定員	32	面接の有無	なし	申込時の志望理由以外の入力欄	なし
<p><b>体験テーマ</b></p> <p>企業との連携によるプロジェクト型の授業です。3、4人のグループで約8か月かけて企業から提示された課題（販売促進、商品開発、マーケティング調査、イベントや展示会の企画・運営等）に取り組みます。プロジェクトは学生だけで行うのではなく、企業の担当者の協力を得て実施します。</p>					
<p><b>内容（春、秋それぞれについて）※詳細はシラバスを参照すること</b></p> <p><b>【春】</b></p> <p>①4、5月は企業との連携プロジェクトを開始するにあたっての事前学習を行います。アイデア抽出や提案のまとめ方等、グループワークの基本的な技術等を、演習を通じて学習します。</p> <p>②5月下旬以降は企業との連携がスタートします。春学期は実施テーマの確認や企業情報の収集など、本格的に課題解決に取り組む前の事前情報の収集などを主に行います。</p> <p>③前期の最後の授業で中間発表会を行います。これまでの活動を振り返り、夏休み以降の活動計画を確認します。</p> <p>④原則として夏休み期間も実習を継続します。内容はテーマによりまちまちですが、秋学期以降の活動に向けて企業での実習を行ったり、販売やイベント参加等の具体的な活動を行うこともあります。</p> <p><b>【秋】</b></p> <p>①春学期から実施しているプロジェクトを継続して実施します。活動内容はテーマによりまちまちですが、秋以降は成果を形にする時期です。自分たちの企画したイベントを実施したり、商品を形にしたり、販売活動を行ったり等、実社会に成果を問う活動が中心となります。</p> <p>②12月下旬に連携企業の関係者らを招いて成果報告会を行います。</p> <p>&lt;参考：2018年度の連携テーマ&gt; ※2019年度は変更になる可能性があります。</p> <p>(1) SNS等を活用した無機EL照明のプロモーション／(2) 段ボールを用いた新商品開発／(3) 肌用転写シール等のマーケット調査・販路開拓・新商品の提案／(4) 20代女性をターゲットとした新商品開発／(5) 切削加工技術によるBtoB商品の販路開拓・新商品開発／(6) 板金加工技術を活かしたBtoC商品の販路開拓／(7) ホームセンターとの連携によるリフォーム商品の販売促進／(8) にんにくオリーブオイルの販売促進</p>					
<p><b>履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など</b></p> <p>定員（32名）を超えた場合、志望理由書に基づき選抜を行います。</p>					
<p><b>費用の目安、自己負担の程度</b></p> <p>実習内容によって、交通費や備品購入費、イベント参加費などが発生します。</p> <p>学部の助成を規定の範囲内で利用できますが、場合によっては自己負担が発生することもあります。</p>					
<p><b>その他注意事項など</b></p> <p>企業との打ち合わせ、展示会やイベントへの参加、各種情報収集等、夏休みも含め、授業時間外の活動が多くあります。これらの活動に参加できることが履修条件となります。活動時間や回数は実施テーマによりまちまちですが、これまで多くの先輩たちが学生生活（授業、バイト、部活）と折り合いをつけて履修できていますので、こうした活動があるという心構えさえあれば特に問題ないでしょう。</p>					



春学期科目名	キャリア体験事前指導 (国際) ベトナム	木4	担当	御園生 純
秋学期科目名	キャリア体験学習 (国際) ベトナム	木4	担当	御園生 純
定員	10	面接の有無	あり	申込時の志望理由以外の入力欄 なし

### 体験テーマ「異文化で生きる～日本とベトナム」

国際化・グローバル化に合致した能力を！ってよくいわれるけど、それっていったいどんな能力なんだろう？  
でも、海外でのビジネスや活動するには、その国で生活し生きていくことができないと。

では外国で生きることっていったいどんなことなんだろう。旅行者としてではなく、生活者として滞在し、現地で暮らしていくことって？

この授業では、日本とベトナム、歴史・文化が大きく異なるこの2つの国の「差異」をベトナムで生活することを通じて実際に体験することが目的です。

ベトナム・ホーチミン市での滞在～生活を通じて、国際化・グローバル化に即したキャリア形成を現地で活動するさまざまな人たちと会うことを通じて考えることを持目的としています。

また日本ベトナムそれぞれの学生による日本語・ベトナム語の授業を通じて、言葉を軸とした異文化理解・国際理解のありようを体験する。日本語を教える側に立つことで、ことばをまなぶことの意味について考察します。

- ・海外で旅行者としてではなく、生活者として生活すること【異国で生きるということ】
- ・ベトナムの大学（ホーチミン工科大学）における日本語教育の現場を体験する【ことばを通じた国際理解】
- ・“ひとり”で生きることを通じて、海外でのコミュニケーション能力や海外で生きる力を試行する

### 【異文化とまじわる】

内容（春、秋それぞれについて）※詳細はシラバスを参照すること

#### 【春】

##### ●ベトナムという国の理解

歴史的な経緯・社会経済体制について、日本との比較の中でベトナムという国を多角的・立体的に理解します。

##### ●ことばをつうじた国際交流～ベトナム語の習得

現地で生活するために必要なベトナム語の習得。

##### ●グローバル社会に即したキャリア形成のあり方について考える

#### 【秋】現地活動と体験の言語化

現地研修を通じて体験したベトナムにおける日本語教育についてレポートにまとめる。

また現地での2週間の生活を通じて得た様々な体験を「社会の課題」とのつながりから考察し明らかにする「体験の言語化」に取り組む。

#### 履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など

定員(10名)を超えた場合、志望動機書および面接による抽選を行います。

※ベトナム語の特別授業(時間外)への出席を求める場合があります。

#### 費用の目安、自己負担の程度

渡航費用（今までの実績では約15万円）がかかりますが、そのうち半額は大学が負担します。

#### その他注意事項など

この研修の最大の主眼はベトナムで一人で生活することです。団体旅行でも、観光旅行でもありません。常に一人でいることが求められる研修です。誰かに頼ったり、周りの目が気になる人、他の人が何をしているのかが常に気になる人、ベトナムを旅行者として楽しみたいと思っている人はこの授業の目的とは合致しません。また周囲との協調性よりも、自分一人で動き行動できる力が重んじられます。とりわけ以下に当てはまる人は向いていません。

- 1、そもそも一人でいることができない人。
- 2、自分で考え判断し行動することのできない人。
- 3、大学で一人で食事をしたり、トイレに行くことができないひと。
- 4、常に周りの目が気になり、周りに誰かがいないと不安になる人。

見知らぬ国で一人で暮らす勇気を持ちたい人を歓迎します。

2017年度用 体験型選択必修科目ガイダンス

春学期科目名	キャリア体験事前指導 (国際) 台湾	月 2	担当	笹川孝一、趙宏偉、郭艶娜	
秋学期科目名	キャリア体験学習 (国際)・台湾	月 2	担当	笹川孝一、趙宏偉、郭艶娜	
定員	10	面接の有無	あり	申込時の志望理由以外 の入力欄	なし
<p>体験テーマ</p> <p>台湾は、日本に一番近く、歴史的な関係も深く、現在も交流が盛んな国の1つです。 台湾は、アジアの中でも多様な文化を持ち、経済成長も著しく、自由な大統領選挙や議会制民主主義が徹底され、若者が元気な国です。</p> <p>台湾の食文化、茶文化は多様でおいしく、多分野で企業が成長し、日本企業も多く進出し、台湾に行った日本人が現地で起業した例、日本統治時代に台湾社会に貢献した人たちの例も多くあります。</p> <p>しかし、アメリカや中国との関係もあり、国連に議席を持つことも独立を宣言することもできていません。日本でも植民地統治についてきちんと教えられていないために、必ずしも良く理解されていません。</p> <p>そういう中で、台湾の若者たちは、日本の漫画や映画、音楽の影響も受けながら自分たち独自の文化も生み出し、東アジア全体や世界に目を向けながら親や家族、自分や国の将来についても真剣に考えています。</p> <p>また、法政大学を卒業した台湾人の留学生たちは、台湾の各界で活躍しています。</p> <p>このプログラムでは、1) 台湾の文化、歴史を知り、2) 角川書店 (出版) やYKK、共同通信などの日系企業、笠間市などの地方自治体の台湾事務所での研修 (使用言語は基本的に日本語) を行い、3) 台湾の卒業生組織「日本法政校友会」の人々との交流、4) 台湾の若者たちとの交流を行います。そしてそれらを通して、私たちがアジアと世界の中で生きていくグローバル人材として育つことを目指します。</p>					
<p>内容 (春、秋それぞれについて) ※詳細はシラバスを参照すること</p> <p><b>【春】</b> 研修の課題を明らかにし、計画を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マレー系先住民、福建人、オランダ人、日本人、大陸中国人など、多様な人々と文化の交差点としての台湾の理解。</li> <li>・歴史や現在の課題理解。台湾における企業活動、台湾と日本、中国、アメリカなどの将来、若者たちの希望と悩み、法政大学との関係の理解。</li> <li>・現地で必要な最低限の中国語学習。</li> <li>・これらを踏まえて、企業研修を含む台湾での課題と計画を、講義とグループワークを通して一人一人が作り、8月15～28日 (予定) に備える。</li> </ul> <p><b>【秋】</b> 現地での体験をまとめ、ポスターと報告書を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア体験学習の全プログラムにおける発表ポスターを作り、プレゼンテーションを行う。</li> <li>・また、現地での体験を振り返り、まとめの報告書を作成する。</li> <li>・これを、グループワーク等を通じ協力しあう。</li> <li>・以上の作業を通じて、日本・アジア・世界で働き楽しみ生きる、グローバル人材としての自分の鼓動に耳を傾ける。</li> </ul>					
<p>履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など</p> <p>定員を超えた場合には面接を実施します。</p> <p>面接予定: 4月3日 14:00～16:00 BT14階「資格課程共同実習室(精密)」グループ面接を行います。</p> <p>実施するか否かは、4月3日10時にキャリアデザイン学部 web 掲示板にてお知らせします。</p>					
<p>費用の目安、自己負担の程度</p> <p><b>【参考】</b> 2019年度参加費用 (予定) ¥120,000 程度 (往復航空券費用・現地宿泊費・海外旅行傷害保険費用等) を予定しています。 ※上記は学部からの費用補助後の、学生個人が負担する金額です。</p>					
<p>その他注意事項など</p> <p>ニュース報道・出版業界に興味のある学生や、または将来海外で働きたいと考えている学生の参加を望みます。</p> <p>またこれらに当てはまらずとも、このプログラムに強い関心があり、意欲のある学生も歓迎します。</p>					

春学期科目名	多文化教育 I	木 2	担当	村田晶子	
秋学期科目名	多文化教育 II	木 2	担当	村田晶子	
定員	50	面接の有無	なし	申込時の志望理由以外 の入力欄	なし
<p><b>体験テーマ</b></p> <p>学内の国際交流活動、日本語教室の学習支援活動などに参加することを通じて、多文化理解を深め、多様な背景を持つ人々とのコミュニケーションの取り方、ボランティアとしての日本語学習サポートの方法、日本事情の紹介の仕方などを学びます。</p>					
<p>内容（春、秋それぞれについて）※詳細はシラバスを参照すること</p> <p><b>【春学期】</b></p> <p>大学における国際交流の意義や現状の課題を理解し、学内で学ぶ留学生にとって、どのような交流の機会や学習支援、文化体験企画などがあることが望ましいのか、クラスでのディスカッション、教室外でのインタビュー活動などを通じて考えます。そして、それらの結果をもとに、秋学期に参加する国際交流活動について各自が考え、計画書を提出します。</p> <p><b>【秋学期】</b></p> <p>春学期に学んだ国際交流活動の意義や現状の課題を踏まえて、クラス履修者は全員、学内あるいは学外の国際交流活動に参加します（活動は学生が選びます。例えば、法政大学の JLP 日本語教育プログラムにおける学習支援、国際交流活動の企画、運営等が考えられますが、春学期の調査結果を踏まえて、別の企画を提案・実施することも可能です）。授業の中で簡単な日本語の教え方、日本文化紹介の仕方も練習します。</p>					
<p>履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など</p> <p>定員を超えた場合は、志望理由書によって選抜します。</p>					
<p>費用の目安、自己負担の程度</p> <p>教科書代以外、特にかかりません。 活動は学内での国際交流活動、留学生支援ボランティアがメインですので、参加費はかかりません。</p>					
<p>その他注意事項など</p> <p>第 1 回のオリエンテーション、第 2 回のグループ分けに必ず参加すること。1 回目、2 回目の欠席者の履修は原則許可しません。どうしても欠席しなければならない場合には必ず事前に教員に連絡してください。</p>					

春学期科目名	メディアリテラシー実習Ⅰ	水4	担当	坂本 旬	
秋学期科目名	メディアリテラシー実習Ⅱ	水4	担当	坂本 旬	
定員	20	面接の有無	なし	申込時の志望理由以外 の入力欄	あり
<p>体験テーマ メディア・リテラシーの学習とキャリアをテーマとしたドキュメンタリー映像の制作</p>					
<p>内容（春、秋それぞれについて）※詳細はシラバスを参照すること</p> <p>春期 メディアリテラシーの基礎理論を学び、1 分程度の公共広告または学部広告映像を制作します。制作した作品は法政大学デジタル・コンテンツ・コンテストへの投稿を義務付けます。</p> <p>秋期 ドキュメンタリーの理論と方法を学び、5～10 分程度のショート・ドキュメンタリーを制作します。なお、発表会は補講日に実施します。</p>					
<p>履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定の Google フォームで履修理由を記入してください。</li> <li>・定員を超えた場合は履修理由をもとに選抜を行います。</li> </ul>					
<p>費用の目安、自己負担の程度</p> <p>映像制作は学部の Mac または自己所有 PC を利用します。Windows 系 PC は無料の Movie Maker がサポート中止になったため有料ソフトが自費で必要になります。大学の PC を使う場合はモバイル HDD または 16GB 以上の USB メモリが必要です。カメラは自己所有のスマートフォンやデジカメでも構いませんが、外付けのマイクが必要で（1000～3000 円程度）。そのほか、取材にかかる費用はすべて自己負担になります。</p>					
<p>その他注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅰを履修しなければⅡを履修することはできません。</li> <li>・単位を取得するためには、作品を期日までに提出することが絶対条件です。</li> <li>・制作は企画から編集まですべて一人で行います。</li> <li>・過去の作品は次の URL にあります。履修の際の参考にしてください。 <a href="https://www.youtube.com/user/sjun120">https://www.youtube.com/user/sjun120</a></li> <li>・本授業の提携推奨テレビ番組は E テレの「人生デザイン U-29」(火曜 23 時   再放送 土曜 午前 1 時)です。</li> <li>・作品は公開を前提に制作します。</li> </ul>					

春学期科目名	地域学習支援Ⅰ	水4	担当	寺崎	
秋学期科目名	地域学習支援Ⅱ	金6	担当	荒川、金山、児美川、坂本、笹川、田澤、熊谷、寺崎	
定員	35	面接等特別選抜の有無	なし	別紙資料	なし

#### 体験テーマ

現代の地域社会でニーズが高まっている地域学習支援の方法について学び、多様な職業分野で期待されている学習支援者としての専門性を習得することを目的としています。地域学習支援Ⅱでは、それぞれの分野ごとに専門の教員が実習指導を行います。

#### 内容（春、秋それぞれについて）※詳細はシラバスを参照すること

##### 【春】

- ①地域とはなにか、地域は現在どのような課題を抱えているか、地域学習とはなにか、支援とはなにか、といった基礎的な知識を、講義や文献講読を通じて学習します。その成果を個人レポートにまとめます。
- ②実習先について実習グループごとに事前学習を行い、実習にあたっての自己の学習課題を明確にします。その成果をグループで発表すると同時に、グループレポートにまとめます。

##### 【秋】

- ①実習先ごとに分かれ、担当教員とともに実習に取り組みます。実習は8月～12月の間の指定された期間に行い、実習先によっては宿泊を伴います。
- ②12月の実習報告会で成果をポスターで報告します。また成果をレポートにまとめます。

◎実習内容例(2018年の実績で、今年に変更になる可能性があります。)

地域づくり①: 島根県鹿足郡吉賀町

地域づくり②: 習志野市立谷津干潟観察センター

青少年自立支援①: NPO 法人文化学習協同ネットワーク、世田谷区立野毛青少年交流センター

青少年自立支援②: NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター

多文化理解: 川崎市ふれあい館、社会福祉法人「青丘社」

地域文化創造: NPO 法人アルファルファ、「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」

コミュニティメディア: 福島県、NPO地球対話ラボ(福島ESDコンソーシアム)

#### 履修希望者に対する課題、定員を超えた場合の選抜方法など

定員(35名)を超えた場合、志望理由の内容により選抜を行います。

実習先の定員は1か所につき5名で毎年異なっています。1つの実習先に希望者が集中した場合、それまでの授業態度や志望理由に基づいて選抜が行われます。第一希望の実習先に行けないこともあります。

※実習タイプによっては他の授業への出席が必須条件となる場合があります。

※6月中旬の金曜6限に実習先ガイダンスがあります。必ず出席してください。

#### 費用の目安、自己負担の程度

実習内容によって、交通費や宿泊費、飲食費が発生します。

学部の助成を規定の範囲内で利用できますが、2、3万円程度の自己負担が発生することもあります。

#### その他注意事項など

レポート執筆やプレゼンテーションへの参加は必須です。

実習および実習報告会に参加しなければ単位は出ません。

※学部認定資格「地域学習支援士」の資格を取得するための必修科目です。

※参考

## 体験型選択必修科目の実習費補助について

体験型選択必修科目に関して。科目により、実習に参加した場合にかかる費用(=実習費)を補助する制度があります。

◇補助 A. 「キャリア体験学習」「キャリアサポート実習」「地域学習支援Ⅱ」が対象

- ・実習費とは「研修費、交通費、宿泊費、消耗品その他」をさします。
- ・実習費が 1 万円以内の場合は実費の補助が出ます。  
1 万円を超える場合、1 万円までは全額、1 万円を超える部分については 2 分の 1 とした金額になります。ただし 2 万円が上限です。

例 1: 実習費が 8,000 円 → 8,000 円の補助

例 2: 実習費が 14,000 円 →  $10,000 + (4,000 \div 2) = 12,000$  円の補助

例 3: 実習費が 40,000 円 →  $10,000 + (30,000 \div 2) = 25,000$  円 上限を超えているので、支給されるのは 20,000 円となる。

◇補助 B. 「キャリア体験学習(国際)」が対象

- ・実習費とは「研修費、渡航費、宿泊費等」をさします。
- ・実習費の 50% まで。20 万円を上限として補助が出ます。
- ・補助は在籍中 1 回限りです。

以上